

議員提出議案第3号

「核兵器のない世界」の実現に向けリーダーシップを求める意見書
上記の議案を提出する。

令和7年6月12日

提出者 世田谷区議会議員

青 空 こうじ	大 庭 正 明	お の みずき	オルズグル
上 川 あ や	川上 こういち	坂 本 みえこ	桜 井 純 子
たかじょう訓子	田 中 優 子	中 里 光 夫	中 塚 さちよ
中 山 みずほ	羽 田 圭 二	原 田 竜 馬	ひえしま 進
藤 井 ま な	み や かおり	桃 野 芳 文	

世田谷区議会議長

石 川 ナオミ 様

「核兵器のない世界」の実現に向けリーダーシップを求める意見書

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現は、我が国のみならず世界中の人々の願いです。
昨年、日本被団協のノーベル平和賞受賞はその表れと受け止めています。

核廃絶を求める声は世界的な高まりを見せており、核兵器の開発や保有、使用などを禁止する核兵器禁止条約の批准国は、2021年1月発効から4年が経過した現在、73か国・地域に達しました。

一方で、ロシアでもイスラエルでも核兵器使用が「選択肢」とされ、核兵器保有国同士のインド・パキスタンの紛争では、核戦争の危機が眼前にありました。人類がかつてないほどの核の脅威にさらされる中、「核兵器のない世界」への道のりは厳しいものとなっています。

世田谷区は、核兵器の廃絶と世界に平和の輪を広げていくことを誓い、国の内外に向けて『平和都市宣言』を行っています。

日本政府には、一日も早く核兵器禁止条約に署名・批准することを求めます。

本年は被爆から80年に当たり、我が国は唯一の戦争被爆国として、核兵器のない世界に向けた国際社会の取組を主導していくことが求められます。世界全ての国がこの条約に参加するよう、国際社会に働きかける力と責任があります。

2026年に開催が予定されている次回核兵器不拡散条約（NPT）運用検討会議において、核軍縮・不拡散が前進する意義ある合意文書が採択されるよう全力で取り組むとともに、核兵器国と非核兵器国の橋渡しに努め、核兵器禁止条約締約国会議についてもオブザーバー参加に向けて前向きに議論するなど、「核兵器のない世界」の実現に向けリーダーシップを発揮されるよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

令和7年6月12日

世田谷区議会議長 石川 ナオミ

衆議院議長 あて

参議院議長 あて

内閣総理大臣 あて

外務大臣 あて